

このニュースはFAXとメールで送信しています。地域民報への転載、各支部への配布にご活用下さい。

さっぽろ

市議団ニュース

2014年3月20日

No.107

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

中島体育センター、廃止ありきの計画やめよ 小形かおり議員が質問

小形かおり議員は19日の予算特別委員会で、中島体育センター(中央区)と、現在計画中の新中央体育館について質問に立ちました。

中島体育センターは年間10万人以上が利用していますが、新中央体育館の建設に合わせて施設の廃止が検討されています。2010年に寄せられたパブリックコメントでは125件中、124件が「センター廃止に反対」の意見でした。

小形議員は、「中島体育センターは、2010年の事業仕分けで“廃止を含む見直し”とされたが、“料金も安く、システムや先生もすばらしい”、“利便性が高く利用者も多い”という市民の声がある。施設を廃止する理由などないのではないか」とただしました。

これを受けて西田スポーツ部長は、「多くの利用者があると認識している。今後の利用者の動向、市民ニーズの状況、施設改修にかかる費用などを総合的に判断し、存廃を検討したい」と答弁しました。

「個人利用者も多く、スポーツ指導者も養成している特徴のある中島体育センターは、新中央体育館とは役割が違うもの。残すべきだ」と、小形議員は強く求めました。

イスラムの食事等の対応と、保育所宗教食に補助を

宮川潤議員が質問

宮川潤議員は19日の予算特別委員会で、札幌市のムスリム(イスラム教徒)対応について質問に立ちました。

まず、宮川議員は「ムスリムの方が日本に来て一番困るのが、礼拝とハラール食といわれている。厳格なハラール食は、豚肉・アルコールを一切使用せず、調理器具等にも制約がある。緩和された『ムスリム・フレンドリー』対応がすすんでいるのではないかと質問。高野馨観光コンベンション部長は「札幌市では、制約の厳しさによってSTEP1、2、3と分けている。この規準の飲食店は増えてきた。今後も増やしたい」と前向きに答えました。

次に、「保育現場では“宗教食”と呼び取り組んでいる。特定の食材を除去するアレルギー除去食のように、人件費補助は出るのか」と質問すると、福田正人子育て支援部長は「市内16施設で宗教食は実施しているが、人件費補助はやっていない」と説明しました。

宮川議員は「保育所で宗教食を出す場合には、人件費補助を実施すべきだ。近年のヘイトスピーチは、札幌市の国際化に傷をつけようとしておりとても残念だ。真の国際友好をすすめ、国際的信頼を高めていくよう、取り組みの強化を」と求めました。